



[京都市の景観重要建造物]

景 091 (H28)

なだらかな山地を背景にして賀茂川にのぞむ景勝地、西賀茂にある神光院は、東寺、仁和寺とともに京都三弘法のひとつであり、地域の人からは「西賀茂の弘法さん」の名で親しまれています。

弘仁7年(816)、瓦屋寺の境内に瓦職人の宿所として創建され、建保5年(1217)上賀茂神社の神職・松下能久が「靈光の照らした地に一字を建立せよ」との神託を受け、大和三輪の慶円上人を招いて建立したことにちなみ、神光院と名づけられました。

山門を入ると、西に御香水、その奥に茶所の蓮月庵、山門の正面に庫裏と客殿、西奥に本堂、北に中興堂、本堂の手前西側には経蔵が建っています。

茶所蓮月庵は、江戸時代後期の尼僧で歌人、陶芸家でもある大田垣蓮月の終の棲家であり、その傍らには、富岡鉄斎によって「蓮月尼舊栖之茶所」と刻まれた石碑が建っています。

本堂(大師堂)は、文政12年(1829)に建てられたもので、堂内には42歳の弘法大師空海が自刻したと伝わる本尊弘法大師像が安置されており、厄除け大師として信仰を集めています。

毎年7月21日と土用丑の日には、空海がキュウリに諸病を封じ、大日如来に病氣平癒を祈願したことにちなみ「諸病封じきゅうり加持祈祷」が行われています。



山門



蓮月庵



〒603-8836 京都市北区西賀茂神光院町120

電話番号 075-491-4375

アクセス 市バス「神光院前」徒歩約3分